みずほIR 個人投資家様セミナー

三井化学
グループ

化学の力で社会課題を解決し、多様な価値の創造を通して持続的に成長し続ける企業グループ

証券コード
4183

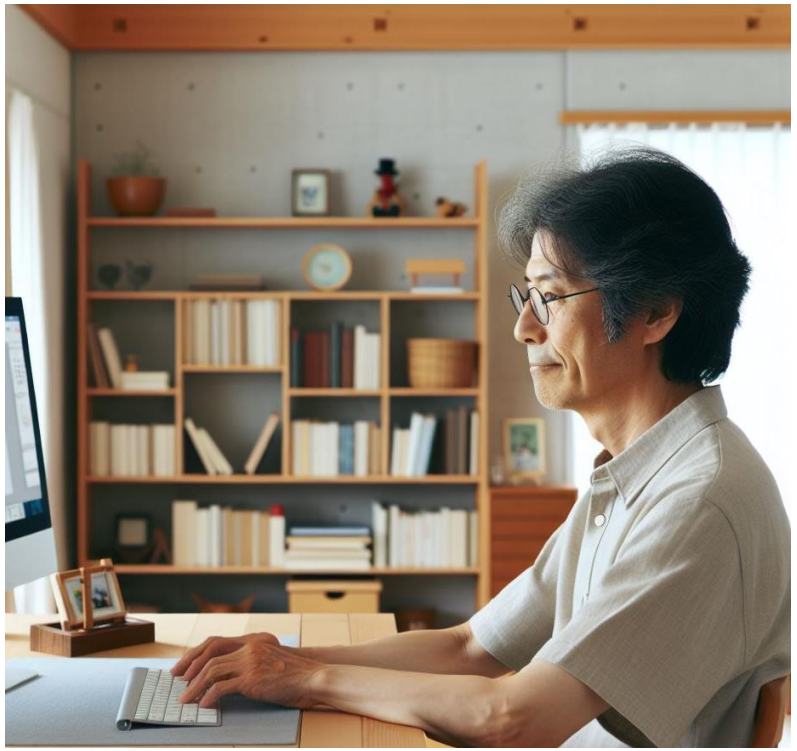
2026年9月8日

三井化学株式会社
コーポレートコミュニケーション部 IRグループ 松坂 玄祐

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1 実は本日、いえずっと前から皆様のところにお邪魔しています

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.



今メガネをかけて画面を見ている方



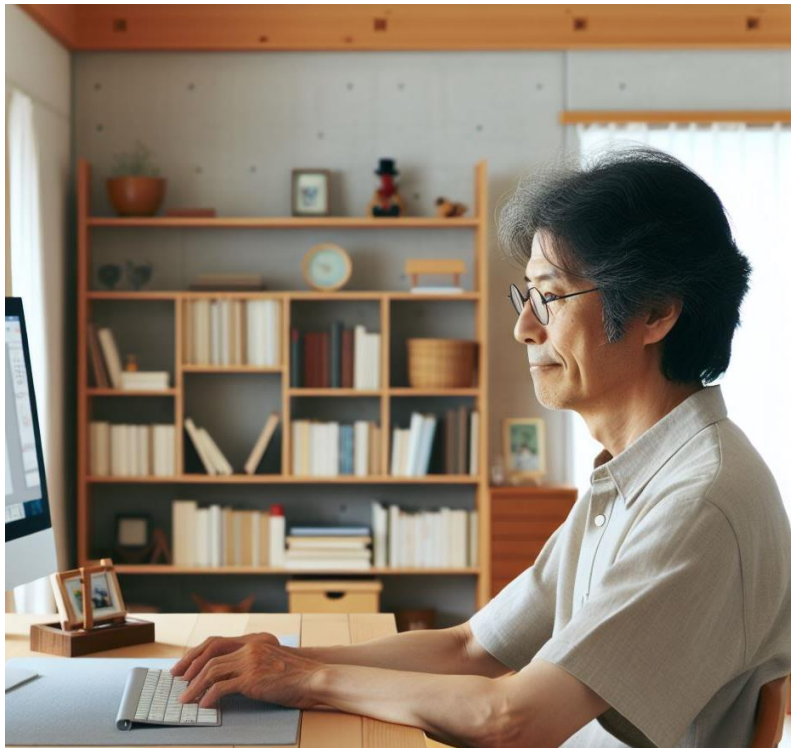
ご愛用のお車を運転する方



この前のご旅行でたくさんスマホで
写真を撮った方

実は本日、いえずっと前から皆様のところにお邪魔しています

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.



今メガネをかけて画面を見ている方



ご愛用のお車を運転する方



この前のご旅行でたくさんスマホで
写真を撮った方

三井化学製品をご愛用いただいている可能性が非常に高い

➡ なぜそう言える？

世界市場で『圧倒的シェア』を誇るからです

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

世界シェア No.1

メガネレンズ材料



薄くて丈夫なレンズ、クリアな視界

世界シェア No.2

自動車材料



より軽く、低燃費な自動車

世界シェア No.1

スマホカメラレンズ材料



小さなレンズでクリアに映す

多様な市場のニーズに応える高機能製品

本日お話しさせて頂く内容

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1. 三井化学とは

2. 株主還元

3. 三井化学の事業

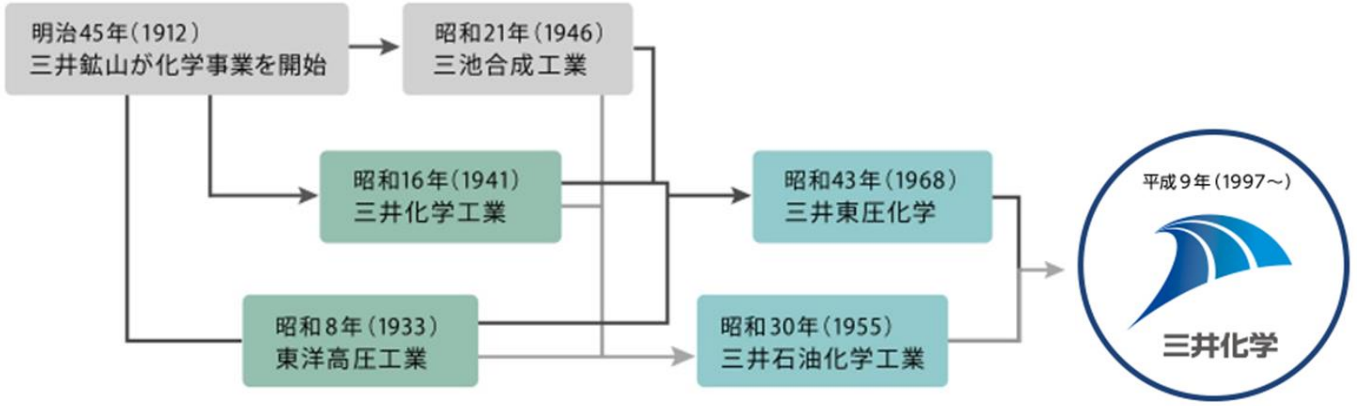
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1. 三井化学とは

三井化学のあゆみ ～技術による社会課題解決の歴史～

Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

- 明治45年（1912）三井鉱山の石炭化学事業を発端に、様々な化学事業に取り組んできました
- 【100年以上にわたり技術による社会課題解決に挑戦してきた歴史】が三井化学グループを形づくっています



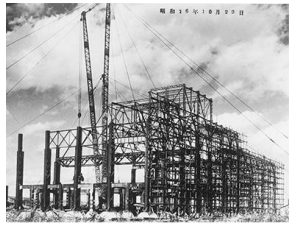
グラフ：売上収益推移

●1915 **日本初**
合成染料「アリザリン」工業化

●1932 **日本初**
合成染料「インジゴ」生産開始



●1948 **世界初**
尿素大量生産工場操業



●1958 **日本初**
エチレンプラント操業



●1998 **世界初**
高機能包装材料エボリュー®生産開始



●2021 **日本初**
バイオマスナフサを原料にプラスチック・化学品製造開始



社会課題解決の歴史

戦後の食糧難に貢献

日本の近代化に貢献

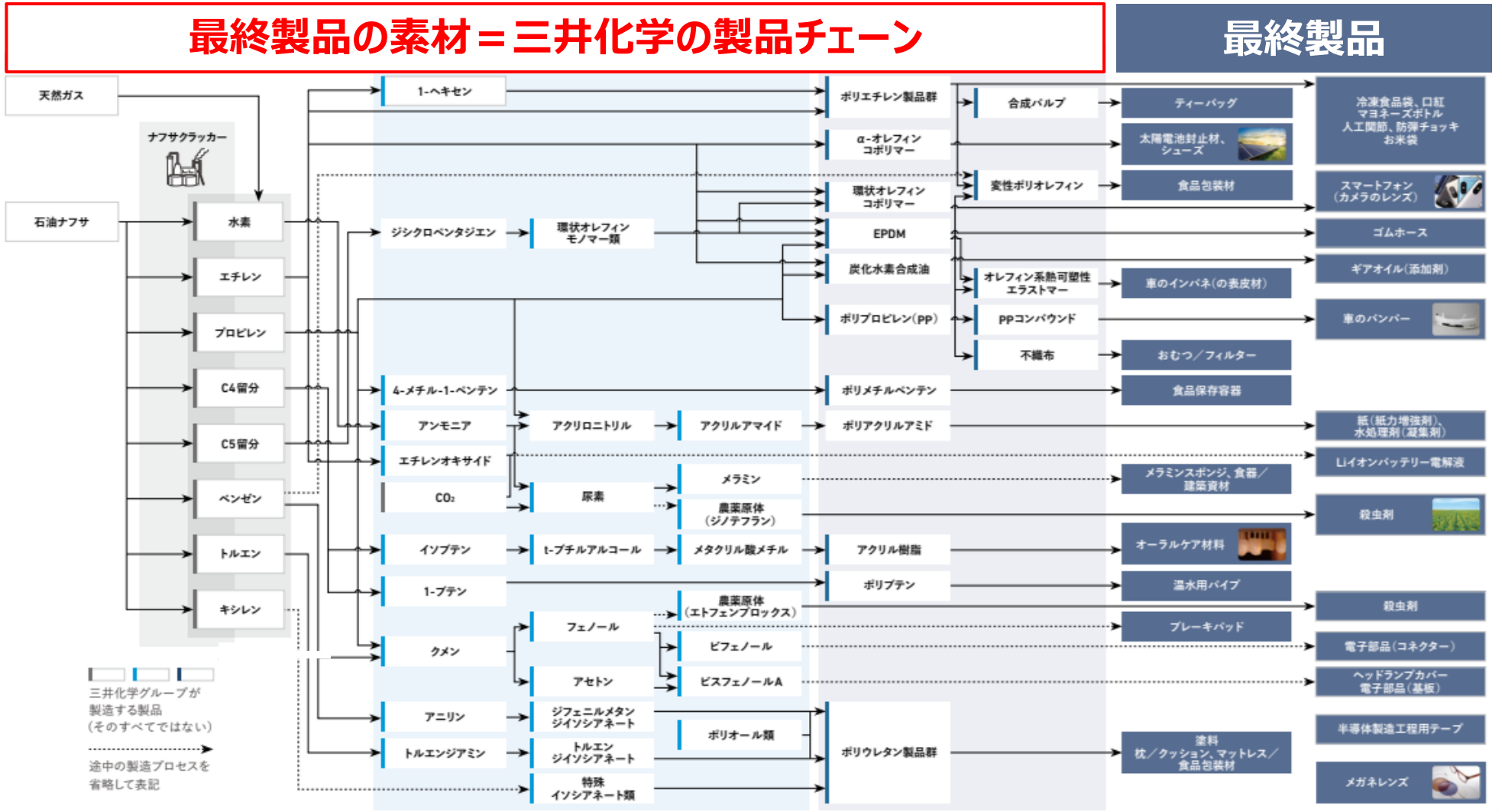
グリーンケミカル実現に向けた挑戦

多様な製品・サービス

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸ 様々な最終製品に対して、幅広く素材・サービスを提供しています

最終製品の素材＝三井化学の製品チェーン



本図は原料から最終製品までの一部フローを図式化したものです。

多様な製品・サービス

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

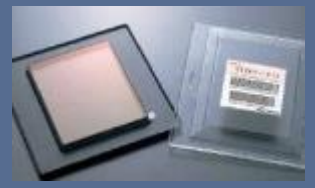
▸ 当社グループが素材・サービスを提供する最終製品の一部をご紹介します

半導体製造工程用テープ



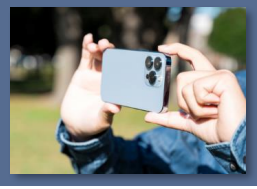
イクロステープ™
世界シェア
No.1

フォトマスク用防塵カバー



三井ペリクル™
世界シェア
No.1

スマホカメラレンズ



アペル®
世界シェア
No.1

食品包装材

PPコンパウンド
世界シェア
No.2

車のバンパー



建築資材

タフマー®
世界シェア
No.2

ティーバッグ

口紅

人工関節

メガネレンズ



MR™
世界シェア
No.1

靴のソール



ギアオイル

ゴムホース

オーラルケア材料



殺虫剤



トレボン®
国内シェア
No.1

スタークル®
国内シェア
No.2

マットレス

三井化学グループの事業領域

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

PORTOFOLIO

Ⅳ ベーシック＆グリーン・マテリアルズ (B&GM)

石油化学製品　バイオ原料・誘導品　など





PORTOFOLIO

Ⅰ ライフ＆ヘルスケア・ソリューション (L&HC)

メガネレンズ材料　農業化学品

オーラルケア材料　など





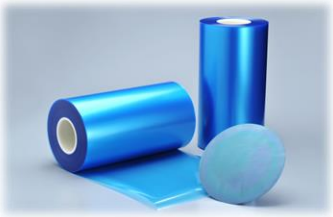


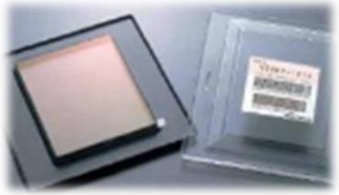
PORTOFOLIO

Ⅲ ICTソリューション

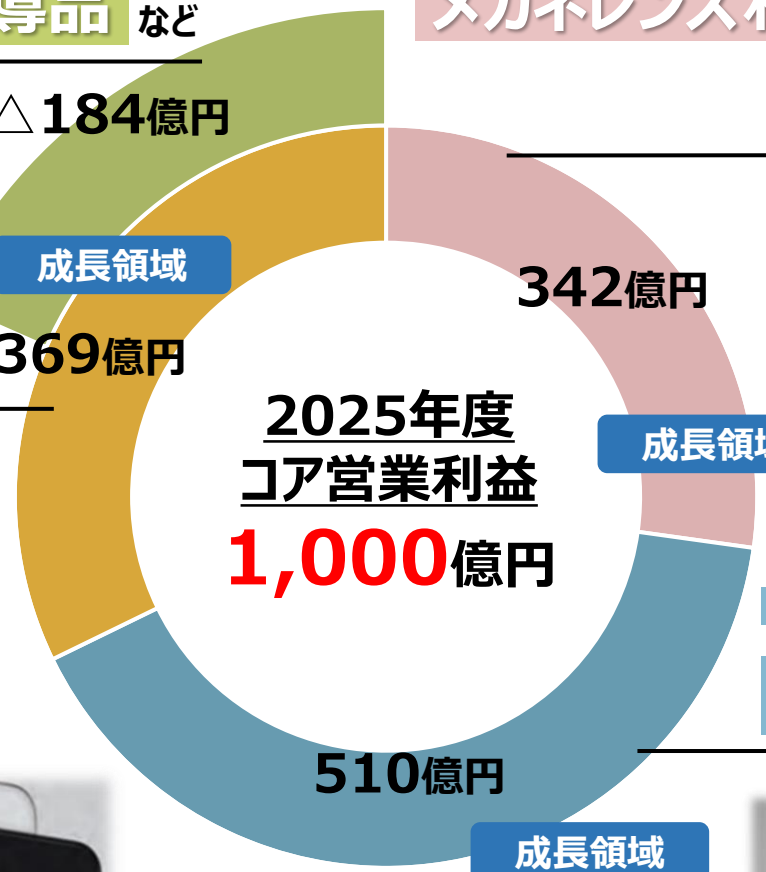
半導体・電子部品工程部材

スマホカメラレンズ材料　など









*その他全社費用等△37億円

PORTOFOLIO

Ⅱ モビリティソリューション

自動車材料　など





三井化学グループの事業戦略

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸成長領域 と B&GM、それぞれの目指す姿に向けて戦略を推進しています

成長領域

- L&HC
- モビリティ
- ICT

積極投資・回収	オーガニック成長	新事業・M&A・提携
メガネレンズ材料	メガネレンズ材料・コート材	既存周辺
農業化学品	農業化学品	メディカル領域
タフマー®	自動車材他多用途	半導体・実装領域
アドマー®	モノマテリアル材	ソリューション
イクロステープ™	半導体関連材	
アペル®	光学関連材	

成長加速に資するM&Aを含めた積極的な資源投下、グローバル展開
収益性・資本効率性に課題のある事業の再構築、ポートフォリオ変革

高成長・高収益の
グローバルスペシャリティカンパニーへ

B&GM

再構築加速
PH　TDI
PTA/PET　PE/PP

ダウンフロー強化
高機能PP　高機能MDI　触媒

グリーンケミカル推進室

脱炭素
アンモニア燃焼

バイオマス
バイオマスナフサ

リサイクル
ケミカルリサイクル

CCU
カーボンニュートラルセンター

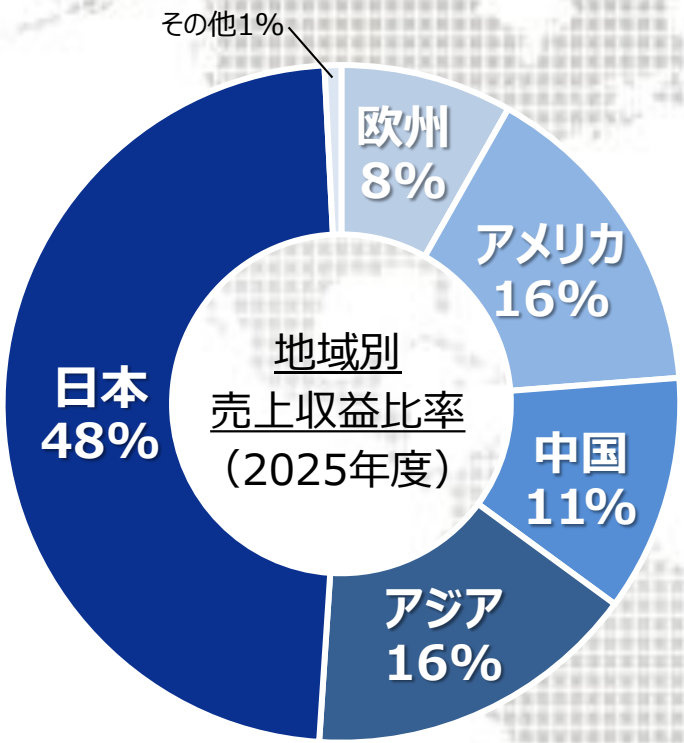
地域・他社連携の推進加速

日本の産業を支える強靭な
ベーシック＆グリーン・マテリアル
カンパニーへ
(2027年近傍には分社化を検討)

積極的なグローバル展開

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸グローバルに高収益・高成長事業を展開する、グローバルスペシャリティカンパニーを目指します



海外売上収益比率

2001年度
25%
➡ 52%

グローバル展開

2001年度
14か国
➡ 28か国

連結対象会社数

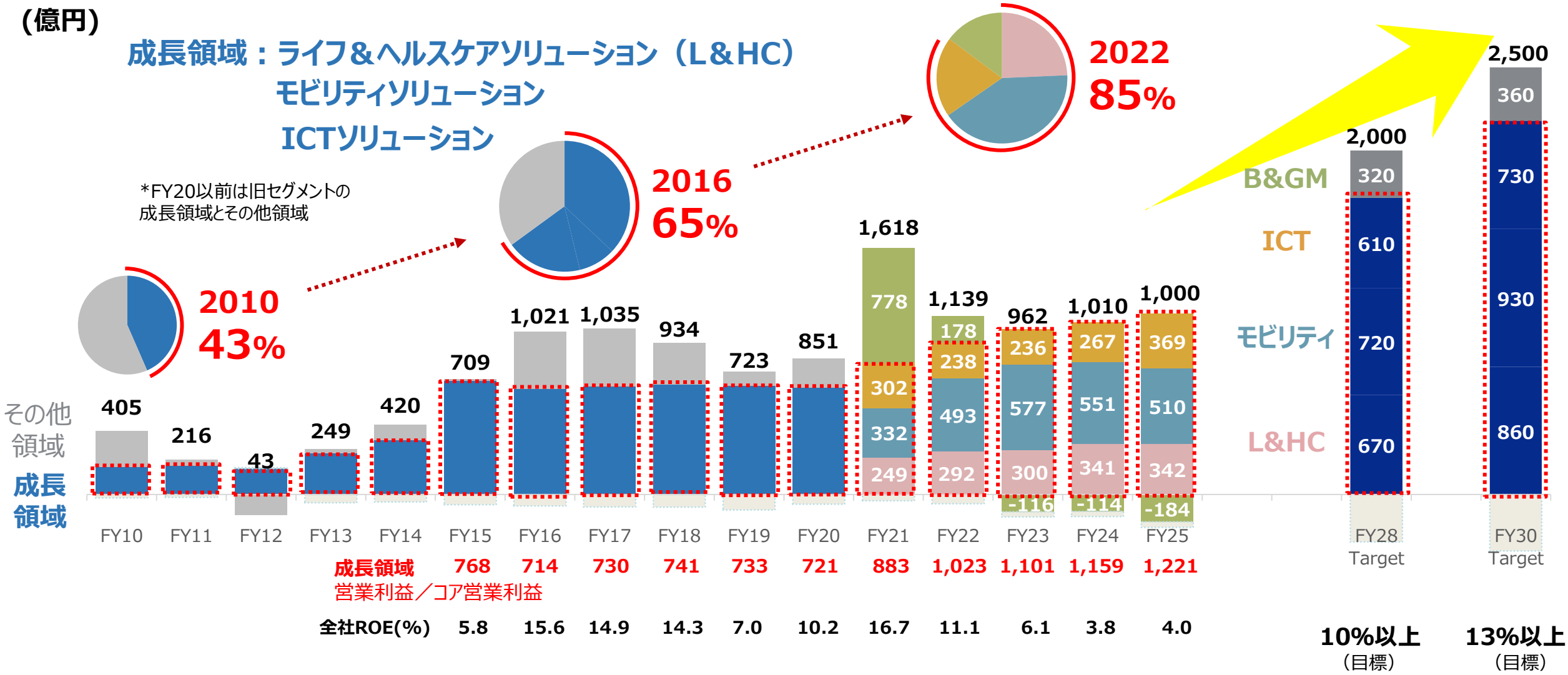
156社　うち海外 106社（66%）

2026年3月末時点

三井化学グループの営業利益／コア営業利益推移

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸ポートフォリオ変革を進め、『成長領域』の拡大が全社利益を牽引しています



Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

2. 株主還元

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

株主還元方針

資本効率向上と安定的かつ継続的な配当の実現

- ✓ **総還元性向40%以上**
- ✓ **DOE*3.0%以上を目指す**
  (FY28までに4.0%を視野に還元強化を検討)
- ✓ **機動的かつ柔軟な自己株式取得**

●26年度配当予想

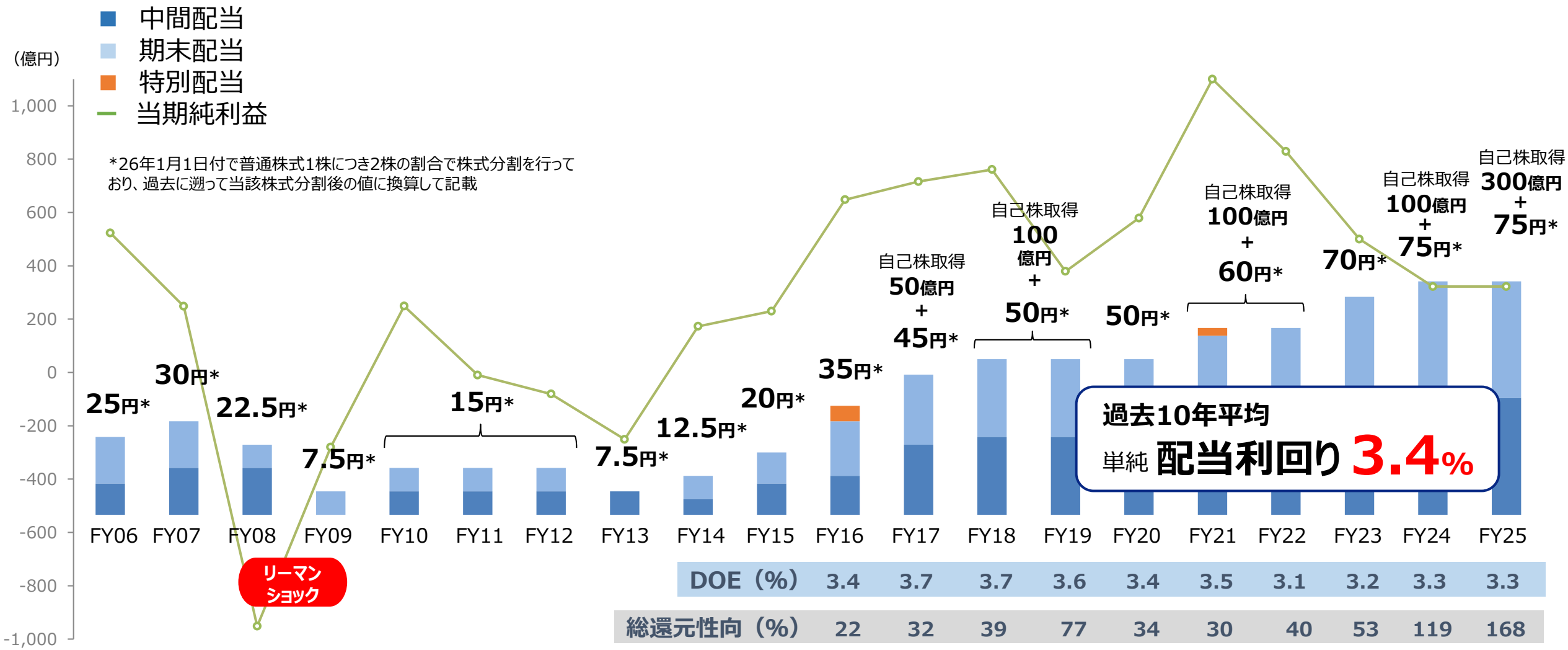
中間		期末		年間
37.5円/株	+	37.5円/株	=	75円/株

*DOE：自己資本配当率＝年間配当総額／自己資本

株主還元　これまでの取り組み

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸ 安定的かつ継続的な配当を実施しています



	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
DOE（%）	3.4	3.7	3.7	3.6	3.4	3.5	3.1	3.2	3.3	3.3
総還元性向（%）	22	32	39	77	34	30	40	53	119	168

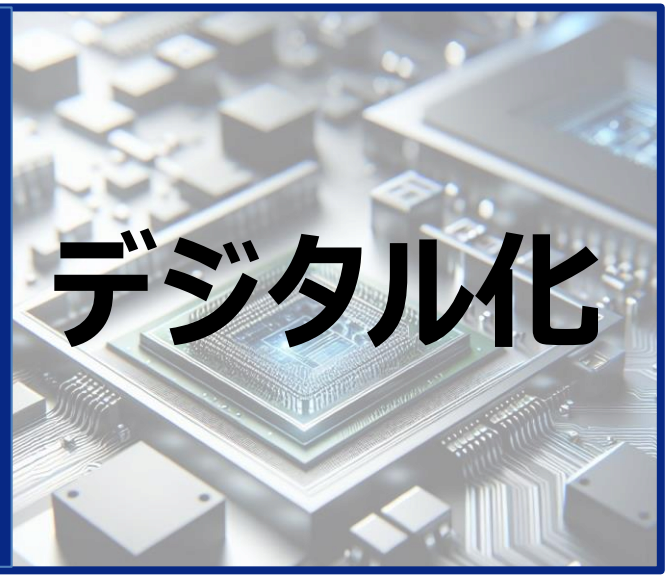
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

3. 三井化学の事業

これからの社会と三井化学の課題解決

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

1 デジタル化



2 健康長寿社会



3 食糧問題

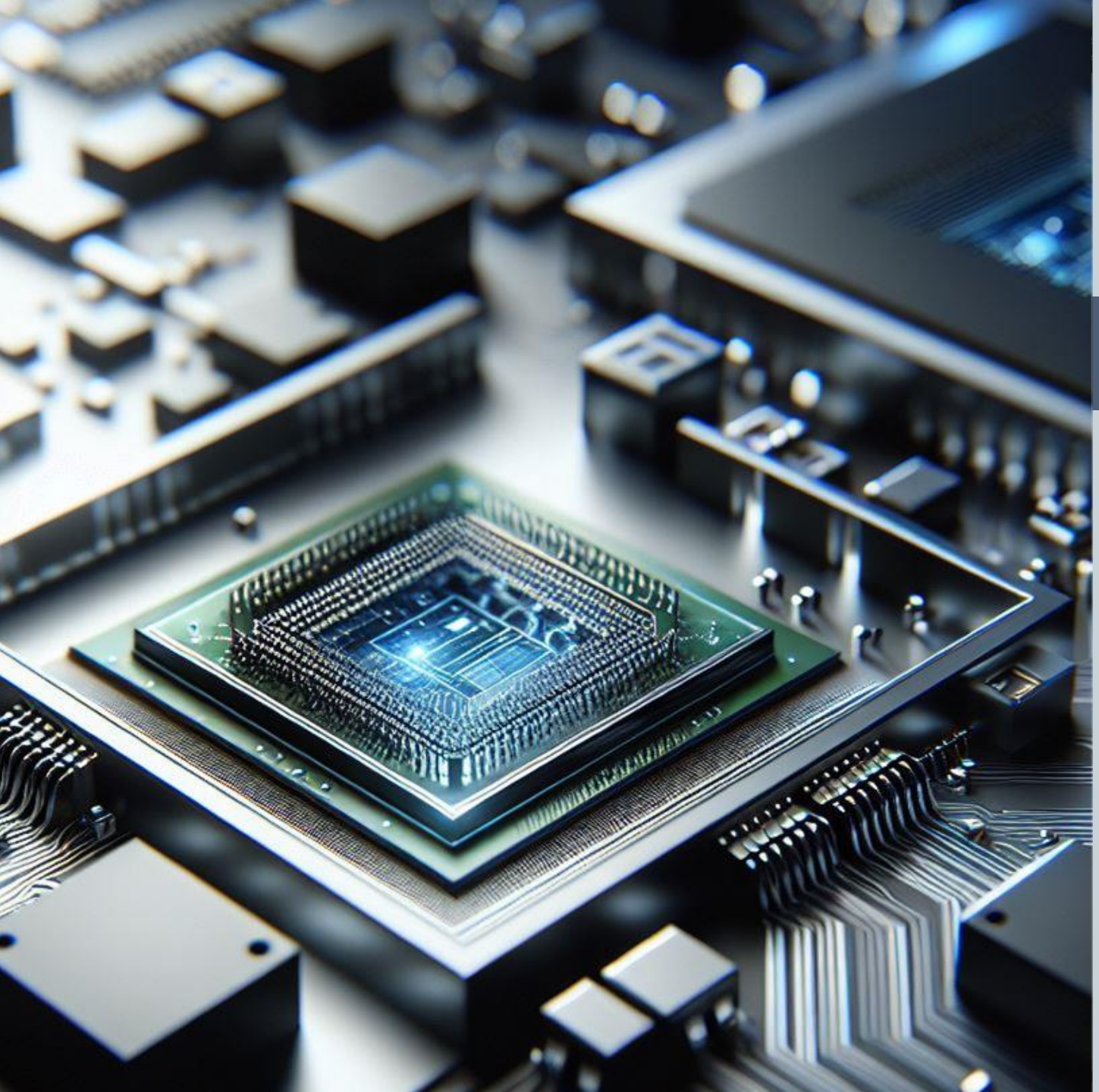


4 次世代モビリティ



5 持続可能な社会





1. デジタル化

半導体関連製品
スマホカメラレンズ材料

デジタル化を支える
３つの世界No.1シェア製品

イクロステープ™

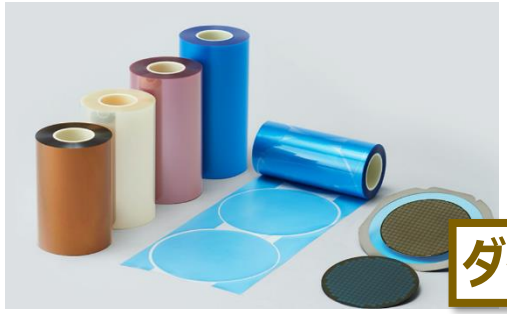
世界シェアNo.1

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸ 製品開発力・顧客技術サポートを武器に事業領域を拡大しています

イクロステープ™の事業領域拡大

・ウェハ裏面研削工程での保護テープシェアNo1
・ウェハ表面への低汚染性、テープ厚みの高精度管理を強みにダイシング工程へ領域拡大



イクロステープ™の生産能力拡大

・台湾における生産能力は2倍以上に拡大



台湾1期(20年稼働)



台湾2期(24年稼働)

新規開発品 MintRow™

・高耐熱離型フィルム
・フッ素代替
・シリコンフリー、ハロゲンフリー

三井ペリクル™

世界シェアNo.1

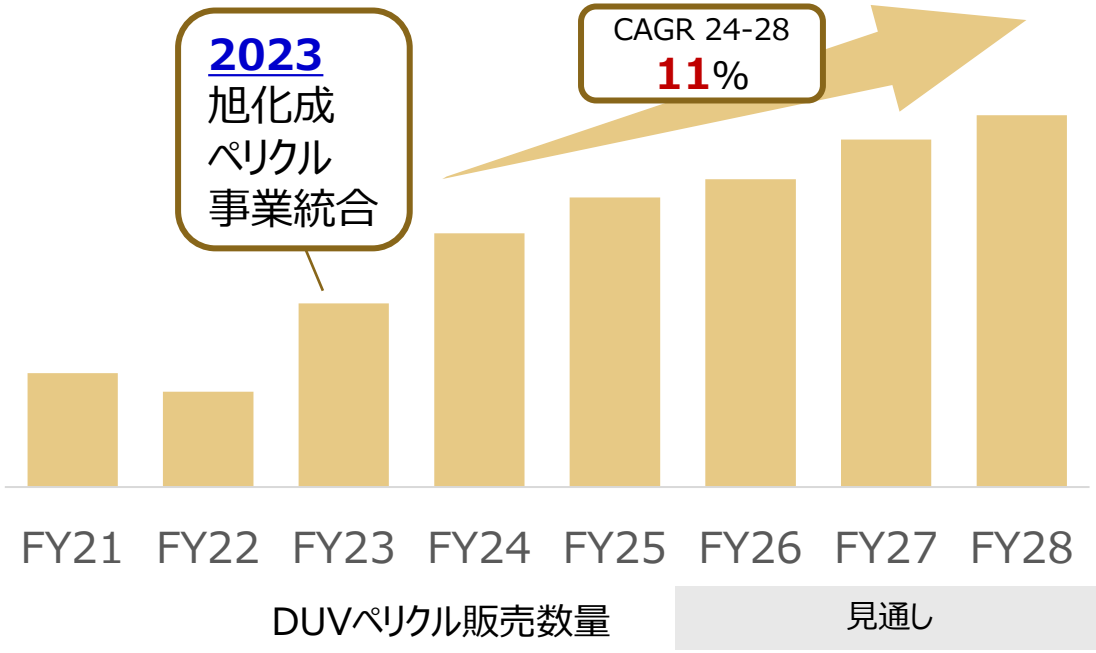
Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸技術革新と多様な顧客ニーズへの対応でEUV・DUVで事業拡大しています

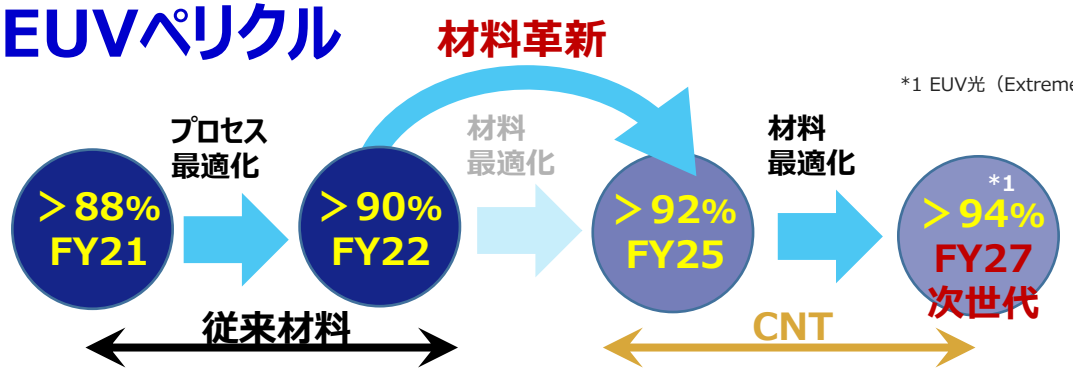
■ DUVペリクル

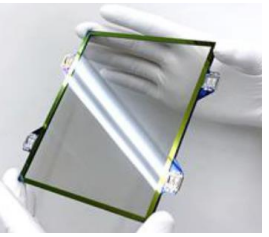
三井化学EMS（23年7月～）
（旭化成ペリクル事業統合）

- 世界トップの供給力
- 世界最先端の製品技術とプロセス開発力
- 販売・購買・物流における業界No.1ネットワーク



■ EUVペリクル

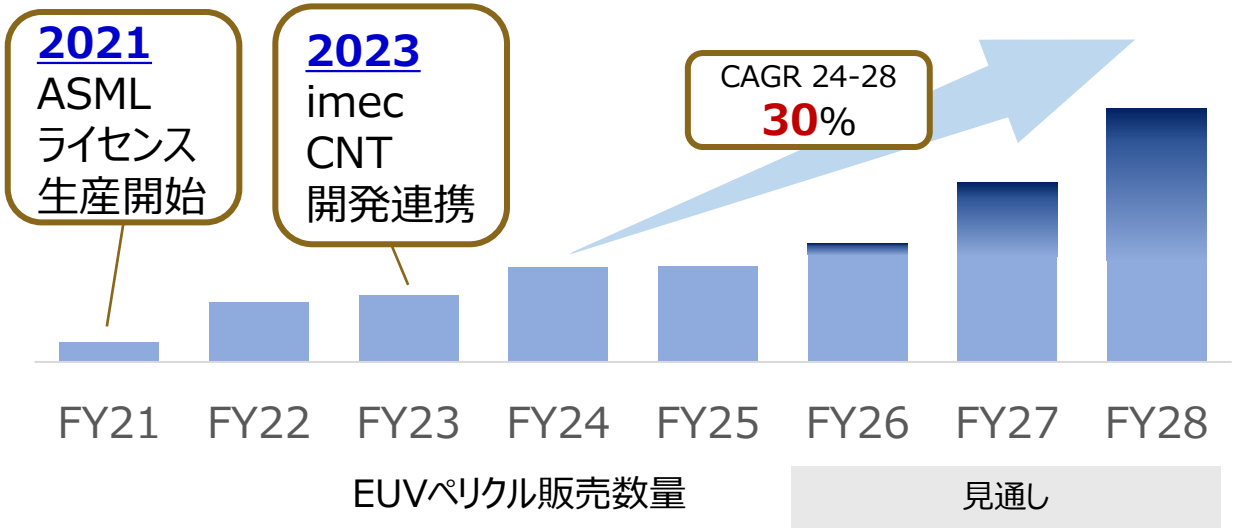




CNT膜

3社連携継続

ASML imec Mitsui Chemicals



スマホカメラレンズ材料 世界シェアNo.1

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸光学材料や有機合成に関する技術を結集し、光学系市場の先端ニーズに応えていきます

スマホカメラレンズ材料
アペル®

スマホ



多用途展開を加速

VR/AR



HUD*1



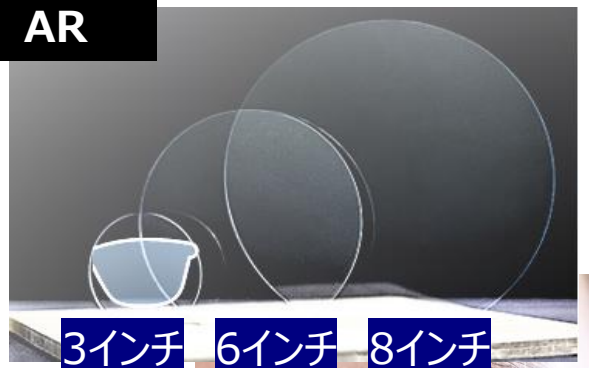
車載カメラ



*1 ヘッドアップディスプレイ（車の運転中にドライバーの目線上に情報を映し出す装置）

ARグラス向け光学樹脂ウエハ
ディフラ™ を開発

AR



8インチサイズは**世界初***

*当社調べ



ARグラス映像の

広視野角
高鮮明性
に寄与

大手テクノロジー企業での採用獲得
▶▶ARグラスでの標準搭載化を目指す



2. 健康長寿社会

メガネレンズ材料
オーラルケア材料

いのちと健康、豊かなくらしに貢献

メガネレンズ材料

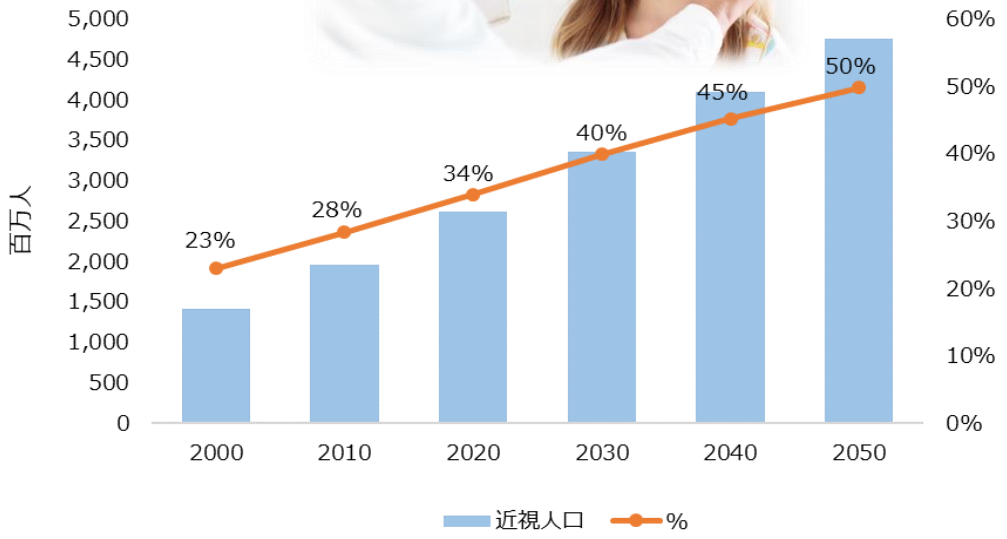
世界シェアNo.1

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

- **2050年 近視人口は世界の50%近くに**
- **高齢化、眼の健康意識の向上、より快適なメガネニーズなどに応えていきます**

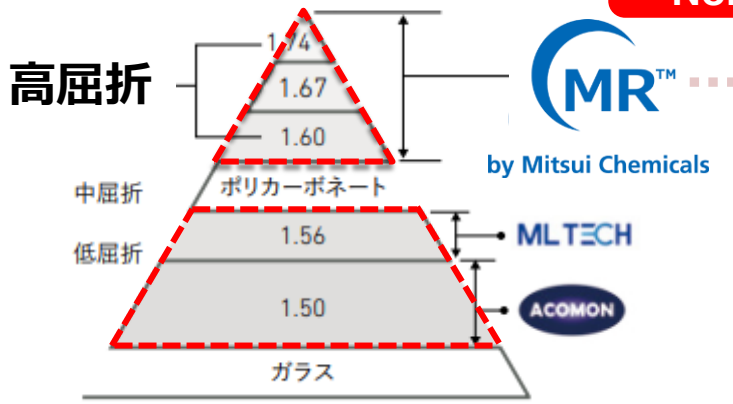


グローバル近視人口



American Academy of Ophthalmology, 2016年

メガネレンズ材料の分類



世界シェア No.1

メガネレンズ材料
市場全体
成長率 3%

高屈折市場
成長率 6~7%

高付加価値領域

＊赤枠：三井化学グループが取り扱う領域

MR™ by Mitsui Chemicals

世界で選ばれる理由

- 度数が高くても **薄くて軽い**
- **クリアな視界**
- **割れにくく、安全**
- さまざまなデザインに **高い加工性**

オーラルケア材料

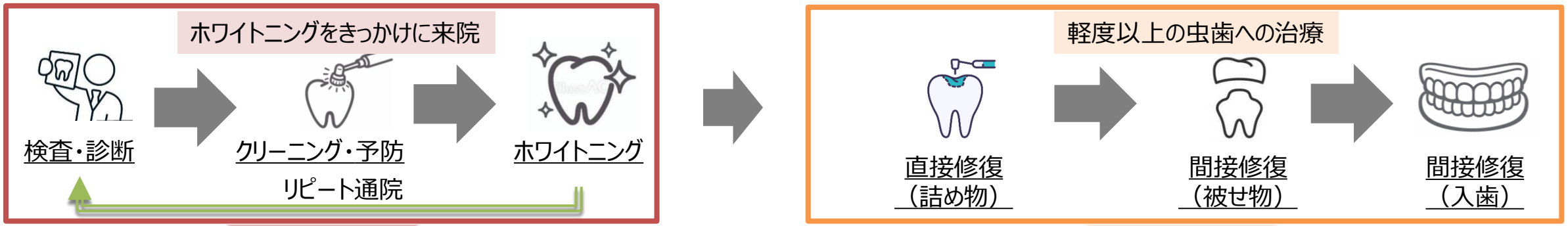
Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸米国Ultradent Products社取得により、ワンストップで歯科治療全体のソリューションを提供する、トータルケア体制を実現していきます

■Ultradent社及びKulzer社保有製品群

製品群【年平均成長率【21-24年】	ホワイトニング【9%】		直接修復 【5%】			間接修復 【1%】		
	オフィス	ホーム	エッチング	ボンディング材	充填修復材	印象材	被せ物用	入歯用
ULTRADENT PRODUCTS, INC.	✓ グローバルトップ			✓	✓	-	-	-
KULZER MITSUI CHEMICALS GROUP	-	-	-	✓	✓欧州上位	✓	✓	✓グローバル上位

■治療フローにおけるホワイトニングの位置づけ



審美ニーズ、予防意識の高まりに対応 ➡ ・**未病者の来院**を促す ・他の要治療箇所の発見 ➡ 直接、間接修復での治療にも対応



3. 食糧問題

農業化学品

農作物の
安定生産、食料増産に貢献

農業化学品

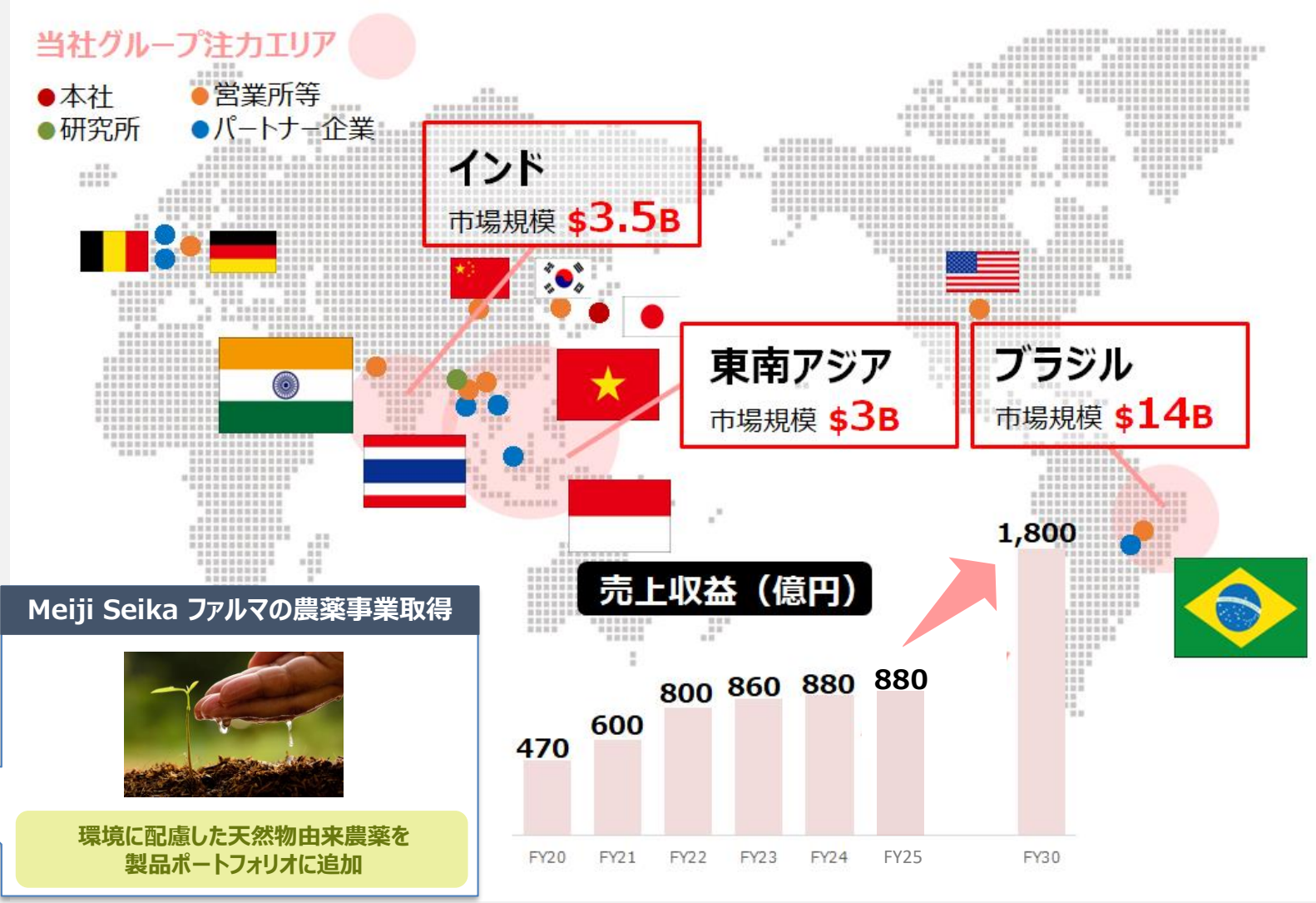
Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

- 独自の原体を創出・加工する研究開発力を強みに高品質の農業化学品を展開しています
- 海外拠点活用、海外パートナー企業への出資により世界で存在感のある事業体を目指します

農業用・家庭園芸用農薬に加え、
ペット用駆虫薬、蚊防除剤用途など
幅広い製品を国内外に展開



化学農薬の安全性・環境負荷低減
を追求



Meiji Seika ファルマの農薬事業取得

環境に配慮した天然物由来農薬を
製品ポートフォリオに追加



4. 次世代モビリティ

多様な自動車材料

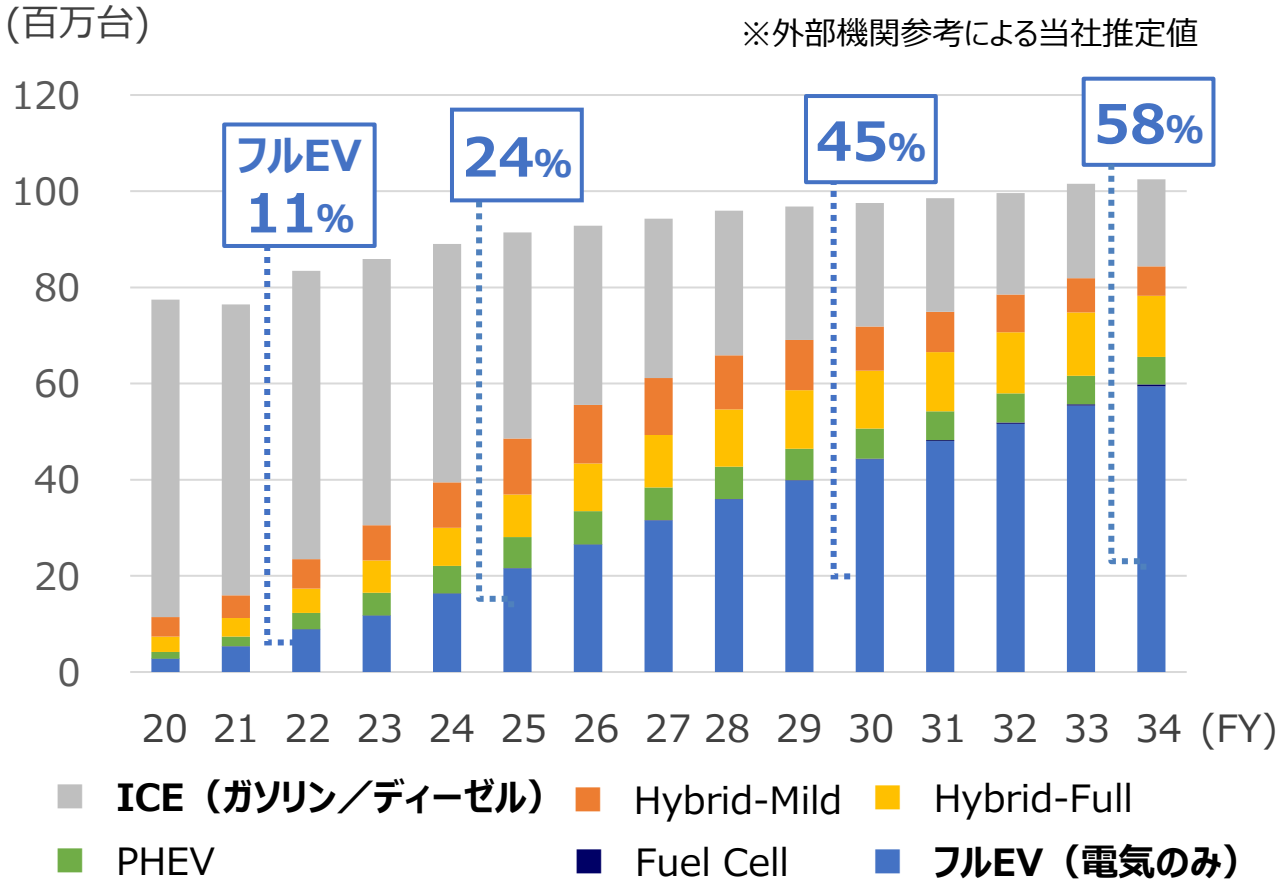
次世代モビリティの
自動車軽量化ニーズに応える

自動車材料

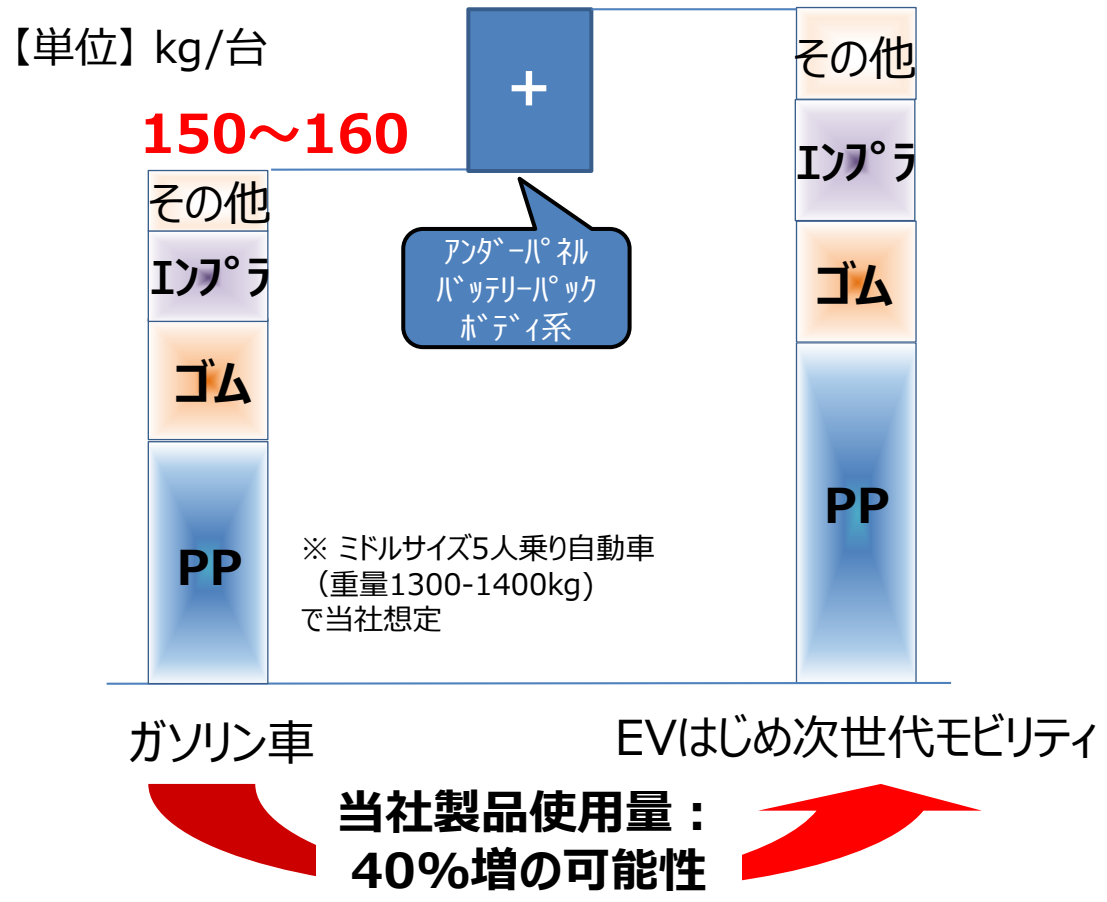
Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸電気自動車（EV）をはじめ次世代モビリティの普及により、軽量化ニーズが見込まれます
▶▶▶ 金属→樹脂への材料転換（当社製品使用量の増加）

世界自動車生産台数



ガソリン車と比較した樹脂使用量



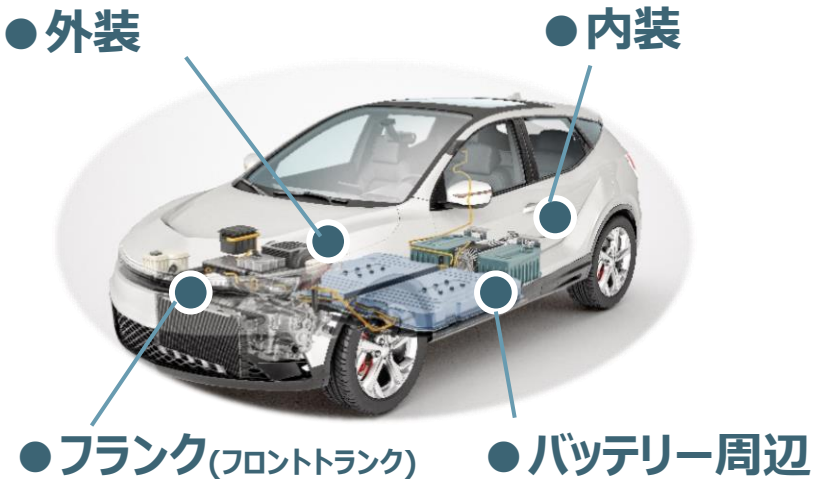
自動車用材料 PPコンパウンド

世界シェアNo.2

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸徹底した地産地消戦略で自動車メーカーのグローバル戦略にスピーディーに対応しています

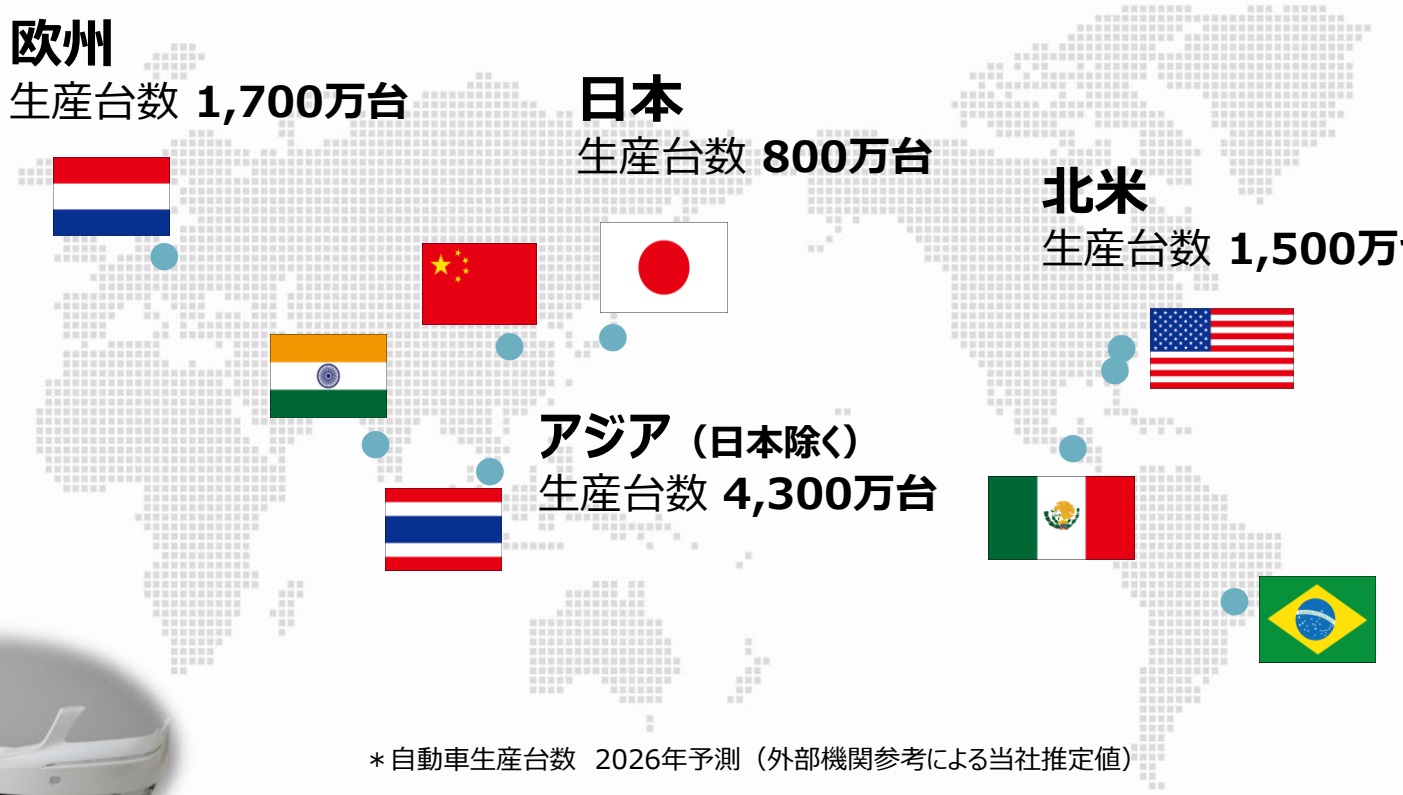
自動車の様々なパーツで使用されるPPコンパウンド



自動車業界を代表する
国内外メーカー から **高い評価** を受け
世界シェア No.2



世界主要地域で９つの生産拠点、７つの研究拠点を有する



＊自動車生産台数　2026年予測（外部機関参考による当社推定値）



5. 持続可能な社会

石油化学の安定化供給、そしてグリーンケミカルへ

中東情勢への対応とベーシック&グリーンマテリアルズの方向性

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

【主な短期的対応】

B&GM ①中東以外の地域からのナフサ調達と**7月以降稼働アップ**により安定供給確保に尽力

全社 ②高騰する原燃料に見合った値上げの実施

③不急の支出の繰り延べ、投資や費用の厳選によりキャッシュフローを確保

【社会情勢】

◆**石油化学産業は日本のあらゆる産業を支える基幹産業**であり、**経済安全保障上の重要性**が再認識され、**日本のコンビナート強化は必須**

◆**リサイクルや省プラスチック等環境対応の重要性**を再認識



- ポリオレフィン事業統合 FY26
- 千葉エチレン設備1基化 FY27
- 西日本エチレン設備1基化 FY30頃
- B&GM分社化検討 FY27目途

持続的に社会的使命を果たすため
更なる他社連携・再編を加速 ⇔ 同業他社…

日本を代表するベーシック＆グリーンマテリアルカンパニー

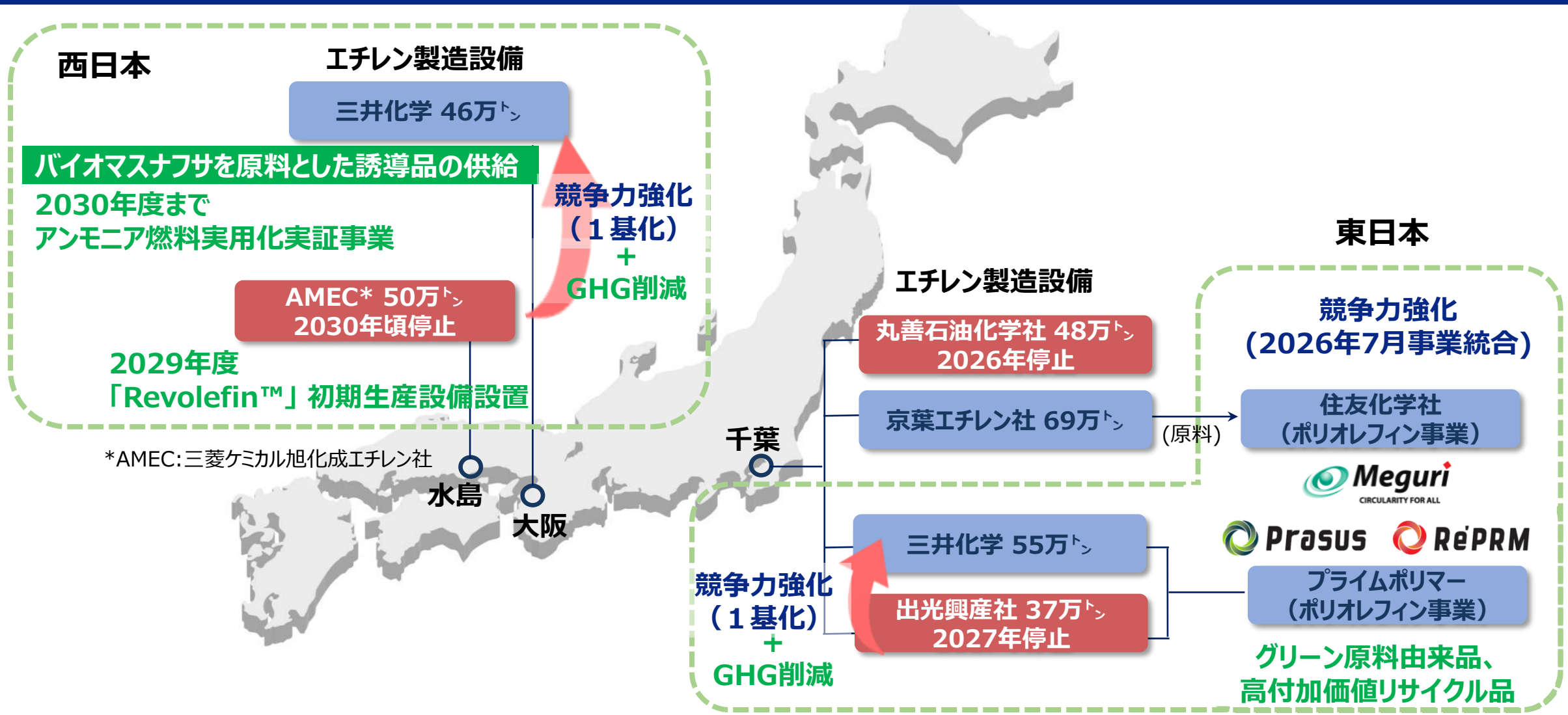
サプライチェーン全体の国内産業を支える強靭な事業体へ

（2027年近傍には分社化を検討）

コンビナートの競争力強化とグリーン化

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

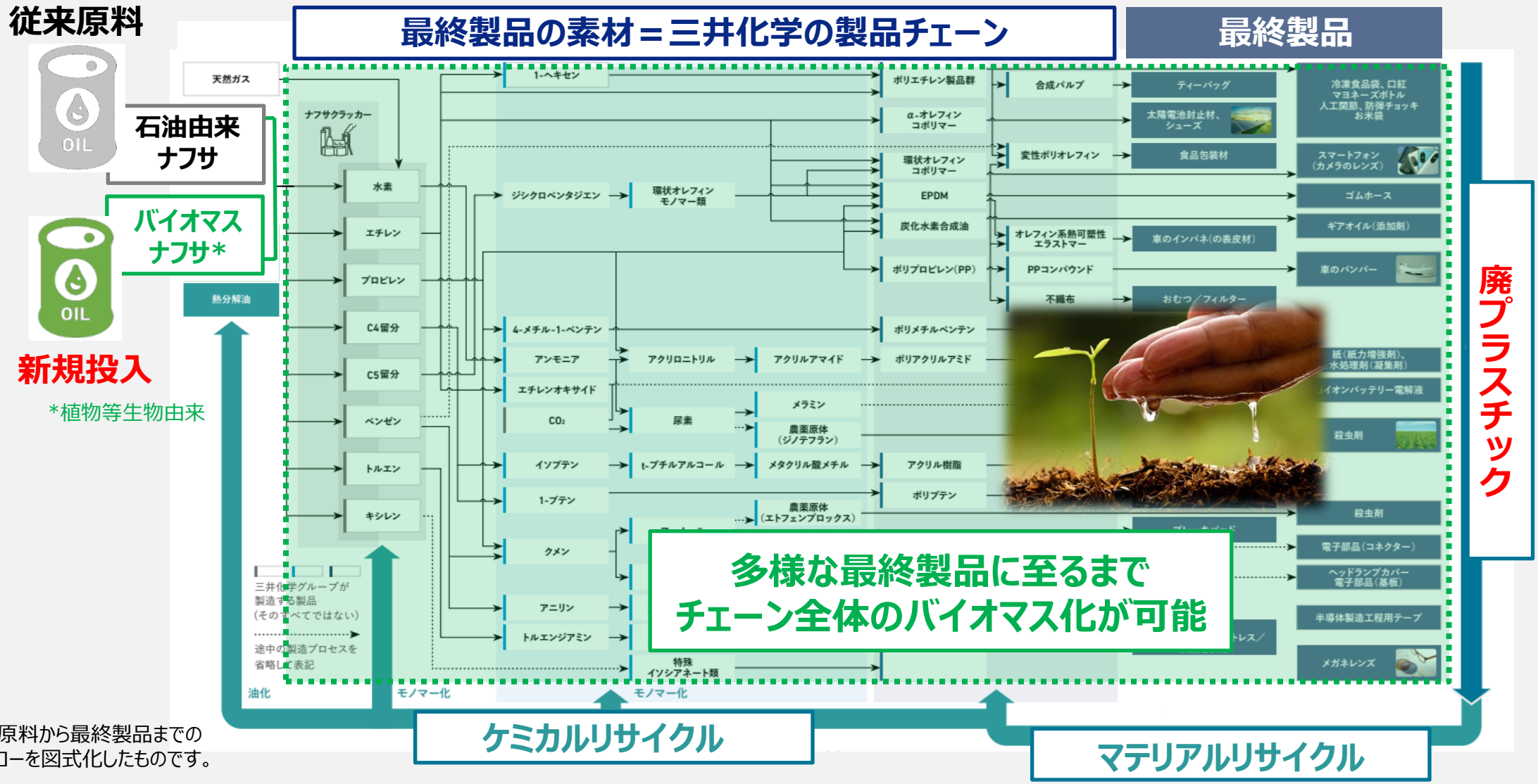
▸他社と連携し、東西拠点でコンビナート競争力強化とグリーン化を図り、日本の産業を支えます



バイオマス・リサイクル戦略

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸チェーン全体のバイオマス化や、廃プラスチックのリサイクルにも積極的に取り組んでいます

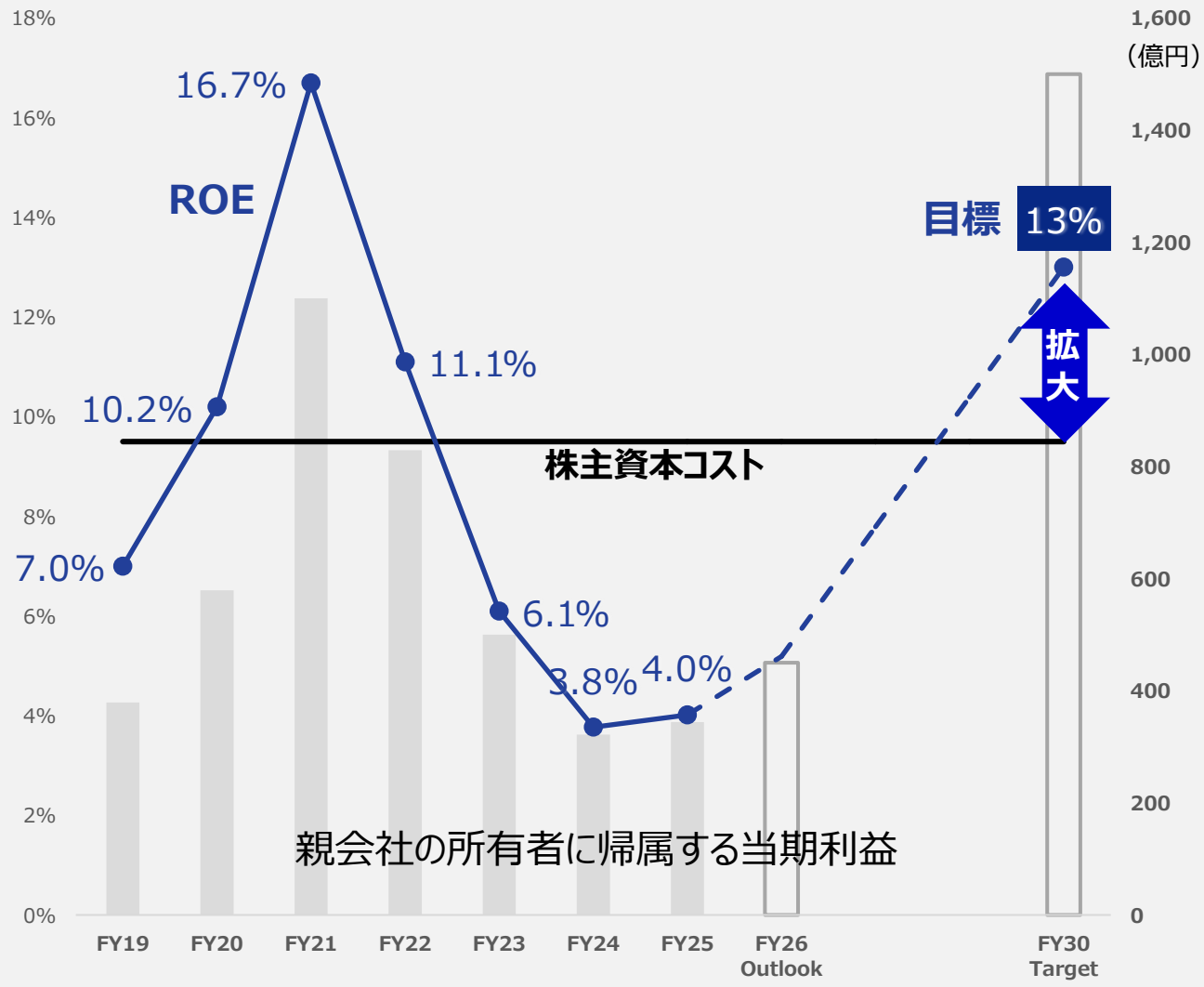


本図は原料から最終製品までの
一部フローを図式化したものです。

おわりに ～ 企業価値向上に向けて

Mitsui Chemicals
Copyright © 2026 Mitsui Chemicals, Inc.

▸事業ポートフォリオ変革、ライトアセット、還元強化等により、企業価値向上を図っていきます



事業ポートフォリオ変革加速	✓ **高い収益性が期待される領域・地域に、より厚く資源配分、市場成長＋αの獲得により成長領域の収益拡大加速** ✓ ROICと利益成長に基づく事業ポートフォリオ変革加速（成長領域でも**期待値に満たない事業/関係会社の方向性を決定**する）
資本効率向上	✓ ポートフォリオ変革による収益性向上 ✓ **他社との連携・再編加速によりコンビナート競争力強化とグリーン化を図り、国内産業を支える強靭な事業体実現を目指す** ✓ 政策保有株式見直し(**FY21～25で計828億円**)等によるライトアセット化推進
キャッシュ創出強化	✓ 収益拡大とCCC改善等による営業CFの向上
資本政策	✓ 株式分割（2026年1月1日） ✓ 株主還元強化(**不透明な中でも配当維持**)
資本コスト低減	✓ ステークホルダーとの対話を通じた経営の質の向上 ✓ 質の高いIR活動

未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World

三井化学

Challenge　Diversity　One Team

ご清聴ありがとうございました

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。